

# 両国駅周辺ぶらり散策

- ① 復興記念館は関東大震災の惨禍を後世に伝え、焦土と化した東京を復興させた事業を永久に記念するため建てられた。東京大空襲による戦災関係書類も展示されている。
- ② 東京都慰霊堂は大正12年9月1日関東大震災の遭難者遺骨を納めるため、被服廠跡に建てられ昭和20年3月10日東京大空襲犠牲者10万5千人の遺骨も安置されている。
- ③ 旧安田庭園は元禄年間に本庄因幡の守宗資により造影された大名庭園。墨田川の水を引き干満による変化を楽しむ潮入回遊式庭園として整備された。
- ④ 両国国技館は一度は訪れたい相撲の聖地。数々の名勝負の舞台となった多目的ホール。国技館アリーナ（土俵まわり等）は見学できないが、平日は相撲博物館が見学可能。
- ⑤ 両国花火資料館は花火の歴史や技術に関する展示をおこなっており、墨田区観光協会が管理運営している。開館時間は12時～16時。
- ⑥ 回向院は浄土宗の寺。幕府が明暦の大火の犠牲者を供養するため建立。その後牢死者、刑死者、安政の大地震の死者も弔う。境内で勧進相撲を興行したのが大相撲の起源。鼠小僧治郎吉の墓がある。
- ⑦ 吉良邸跡は浅内匠頭守による殿中刃傷事件の後の元禄14年に吉良上野介義介が当地に建設した吉良家の上屋敷で2550坪あった。赤穂浪士による仇討事件が起こり、その名所を惜しんだ三丁目町会有志会が発起人となり、本所松阪町公園として残っている。

**散策日** 2019年11月12日(火) 荒天中止 (中止時は、支部HP画像掲示板を見て下さい)  
**集合場所・時間** 地下鉄大江戸線 両国駅改札口前に10時20分迄に集合  
**※参考:** 中央林間8時45分に乗車。清澄白河で1番線に乗り換え10時06分に両国着  
**用意する物** 参加費300円、昼食、健康保険証、雨具、飲み物  
**参加申込先** 大和支部 山崎まで (HP大和支部予定表申し込みフォームから可)

**散策ルート:** 大江戸線両国駅 A1 出口 10:25 発→復興記念館 10:35~11:00→東京都慰霊堂 11:05~11:20→旧安田庭園 11:30~12:30→国技館 12:45~13:30→両国花火資料館 13:45~14:00→回向院 14:15~14:35→吉良邸跡 14:55~15:10→JR 両国駅・江戸 NORENN で買い物 15:36 頃乗車→新宿駅 15:55~16:01→大和駅に 16:50 頃到着予定  
米 時刻はあくまで予定です



復興記念館



東京都慰霊堂



旧安田庭園



国技館



両国花火資料館



回向院



吉良邸跡



江戸 NORENN 風景